

『教育研究』 投稿論文執筆要項

1. 日本語および英語の両原稿を受け付けるが、以下の規定は**日本語原稿のみに適用される**（**英語原稿用の規定は English Manuscript を参照のこと**）。原稿は横書きとし、句読点は「。」（マル）「，」（全角コロン）とする。
2. 原稿の長さは、研究論文は16000字以内、書評は4000字以内、博士論文要旨は和文要旨と英文要旨を併記し、和文は4000字以内、英文は1000語以内とする。研究論文には日英両語で要旨（和文要旨を400字程度、英文要旨を250語程度とする）とキーワード（3～5項目）をそえる。
3. 原稿には研究論文、書評、博士論文要旨の別を明記し、**研究論文**には①和文表題・英文表題、②著者名（和文表記とアルファベット表記）、③所属（日本語と英語）④要旨（和文と英文）、⑤キーワード（日本語と英語）、⑥電子メールアドレス、⑦本文・引用文献、⑧図表を、**書評**には①和文表題・英文表題、②著者名（和文表記とアルファベット表記）、③所属（日本語と英語）④電子メールアドレス、⑤本文を、**博士論文要旨**には①和文表題・英文表題、②著者名（和文表記とアルファベット表記）、③所属（日本語と英語）、④電子メールアドレス、⑤本文を含めること。
4. 『教育研究』では引用文献に関して共通の表記形式を設けている。よって、以下の形式を必ず守ること。
5. 本文の中で章・節等の記号をつける場合には、章は「1.」、「2.」、第1章第1節は「1.1」のようにし、以下これに準ずること。
6. 本文中の外国人名等の固有名詞は、原綴りあるいは英語綴りを原則とするが、公式の名称等として著名なものはカタカナでもよしとする。また、本文中での文献の引用は原則として以下のようにする。例えば、「林（1978）によれば…」、「Rogers（1944）によると…」、「…（林，1978）。」、「…（Rogers，1944）。」
7. 引用文献の表記は原則として以下のようにし、一般的な日本語表記とアルファベットの範囲を原則とする。その配列は和文文献と英文文献とを分けず、原則としてアルファベット順とする。
 - ①和文の単行本の場合
安田三郎・海野道郎（1977）. 社会統計学改訂2版 丸善
 - ②和文の編著書中の論文の場合
竹内郁郎（1982）. 受容過程の研究 竹内郁郎・児島和人（編）現代マスコミュニケーション論 有斐閣 pp. 44-79.
 - ③和文の逐次刊行物の場合
芳賀純（1963）日本人学生の学習した英語名詞の意味構造の比較研究 教育心理学研究, **11**, 33-42.
 - ④欧文の単行本の場合
Spitzberg, B. H., & Cupach, W. R. (1984). *Interpersonal communication competence*. Beverly Hills, CA: Sage.
 - ⑤欧文の編著書中の論文の場合
Winton, W.M. (1990). Language and emotion. In Giles, H., & Robinson, W. P. (Eds.). *Handbook of language and social psychology* (pp. 33-49). New York, NY: John Wiley & Sons.
 - ⑥欧文の逐次刊行物の場合
Zajonc, R.B. (1980). Feeling and thinking : Preferences need no inference. *American Psychologist*, **35**, 151-175.

⑦インターネット上の資料の場合

電子媒体からの引用は、必ずコピーを取って保管し、編集委員会からの請求があった場合、速やかに提出できるようにする。著者名、年号、資料題名、サイト名、アップデート日、<URL>、(資料にアクセスした日)の順に記載する。

国際基督教大学教育研究所 (2008). お知らせ 国際基督教大学教育研究所 2008年1月8日 <<http://subsite.icu.ac.jp/iers/nihongo/page1.html>> (2008年2月6日)

⑧新聞記事および雑誌記事の場合

* 署名記事の場合

本田麻由美 (2004). がん和我 (1) 米国の病院で意見聞きたい 朝日新聞 4月19日朝刊

* 署名記事ではない場合

朝日新聞 (2004). がん和我 (1) 米国の病院で意見聞きたい 4月19日朝刊

8. 図・表は添付される出典・注釈などの字句も一式にして鮮明なものを用意し、図・表ごとに原稿を1部提出すること。
9. 本文とは別に図・表ごとにファイルを作成すること。最終的な掲載サイズは編集委員会が決定する。
10. 提出原稿の文中に各々の図・表の掲載位置を明示すること。
11. 注は論文の末尾に入れる「**末尾注**」とし、脚注は使わないこと。